

多文化共生 若い世代が妙案



知立市のSDGs達成に向けたアイデアを発表する高校生＝市中央公民館で

SDGsテーマ 知立でコンテスト

知立市のSDGs（持続可能な開発目標）達成のために、高校生や大学生が考えたアイデアを競うコンテストが三十日、市中央公民館で開かれた。

同市は昨年五月、内閣府からSDGs未来都市に選定された。若者にもSDGsに対する意識を高めてもらうようとコンテストを初めて企画。愛知教育大、市若手職員有志から各一チーム、知立東高校から二チームの計五チームが参加し、発表に臨んだ。

知立東高校二年の太田千鶴さん（せ）、早川真央さん（せ）、ラフィ・アルジャンヤさん（せ）のチームは、市

らに覚えてもらう企画を披露し、「誰一人取り残されず安心して暮らせるまちづくりを目指す」と強調した。

審査の結果、愛知教育大で経済学を学ぶゼミの三、四年生計十二人が考えた、外国人とのスポーツ大会な

どを通じた多文化共生の案が最優秀賞に選ばれた。審査委員長を務めた林郁夫市長は「どの発表も素晴らしい」と講評した。

（藪下千晶）